

ありまふじ里山だより

Vol.39

『ありまふじ里山だより』では、棚田里山エリアの自然の様子や里山保全に向けた取り組みについてご紹介します。Vol.39は福島大池のかいぼりの様子や里守の会の活動についてお届けします。



福島大池のかいぼり

福島大池では「かいぼり」が行われました。先月から少しずつ水を抜いて、池の底があらわになっていました。この日は朝から地元の方々が集まり、水門を開いて最後の水を流していきます。それに伴い、しだいに水面が小さくなり、コイや小魚、エビなど様々ないきものが集まってきていました。来園者も興味津々にその作業を見つめます。

かいぼりは農業用ため池の維持管理作業の1つで、池の水を抜いて天日干しすることで水質改善をはかる大切なもの。そんな水の減った福島大池には1週間ほどの間、コウノトリが飛来していました。よく見慣れたサギよりも、ひと回り大きな体に、真っ白な体に翼の先端だけが黒い模様は遠くからでもはっきりとわかる存在でした。

里守の会、活動日！

里山では落葉も進み、足元には落ち葉のふかふか絨毯ができています。肌寒くもあり、日が照るとまだまだ暖かさを感じる陽気のなか、月末に実施するイベントに向けて、この日も里山整備に汗を流しました。